

週間市場レポート (2022年1月24日～1月28日)

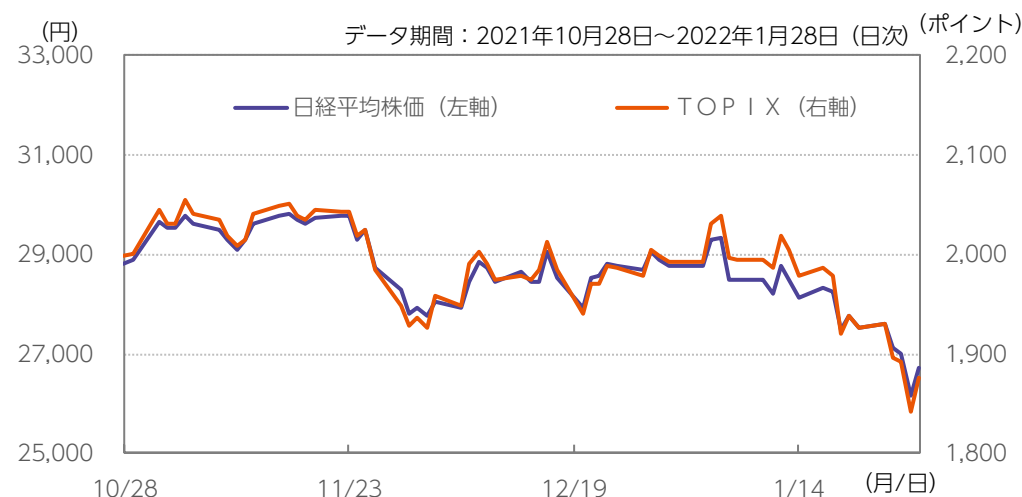
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/1/21	先週末 2022/1/28	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,522.26	26,717.34	▲ 2.92 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,927.18	1,876.89	▲ 2.61 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,265.37	34,725.47	1.34 ↑
S&P500種指数		4,397.94	4,431.85	0.77 ↑
ナスダック総合指数		13,768.92	13,770.57	0.01 ↑
ユーロ・ストックス50指数		4,229.56	4,136.91	▲ 2.19 ↓
S&P/ASX300指数		7,182.53	6,983.65	▲ 2.77 ↓
上海総合指数		3,522.57	3,361.44	▲ 4.57 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		972.62	927.23	▲ 4.67 ↓
東証REIT指数		1,881.27	1,940.95	3.17 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		891.63	890.31	▲ 0.15 ↓
ASX300 REIT 指数		1,608.80	1,571.20	▲ 2.34 ↓
グローバルREIT (除く日本)*		212.88	211.40	▲ 0.70 ↓
日本10年国債 (%)		0.137	0.171	0.034 ↑
米国10年国債 (%)		1.758	1.769	0.011 ↑
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.065	▲ 0.045	0.020 ↑
英国10年国債 (%)		1.171	1.244	0.073 ↑
ドル/円		113.68	115.26	1.39 ↑
ユーロ/円		128.98	128.58	▲ 0.31 ↓
英ポンド/円		154.07	154.56	0.32 ↑
豪ドル/円		81.59	80.57	▲ 1.25 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,434.79	3,303.40	▲ 3.83 ↓
WTI原油先物 (ドル)		85.14	86.82	1.97 ↑
CRB指数		248.48	252.85	1.76 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。前週に大きく下げた反動から主力銘柄を中心に見直し買いが入り、週初は小幅に上昇しました。その後は、米金融政策の早期正常化への警戒やウクライナ情勢の緊迫化で投資家のリスクを回避する姿勢が一段と高まる中、25～26日の日程で開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）を受けた早期利上げ観測の高まりから売りが加速し、27日（木）の終値は2020年11月以来およそ1年2カ月ぶりに安値を更新しました。週末は自律反発を見込んだ買いが優勢となり、上昇したものの、週間では前週末比で下落となりました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。

米連邦準備制度理事会（FRB）による早期利上げ観測から、週初より上昇基調となりました。FOMC後のパウエルFRB議長の発言が予想以上にタカ派的となったことから、米長期金利が大幅上昇した流れを受け、国内金利も週末まで上昇しました（価格は下落）。

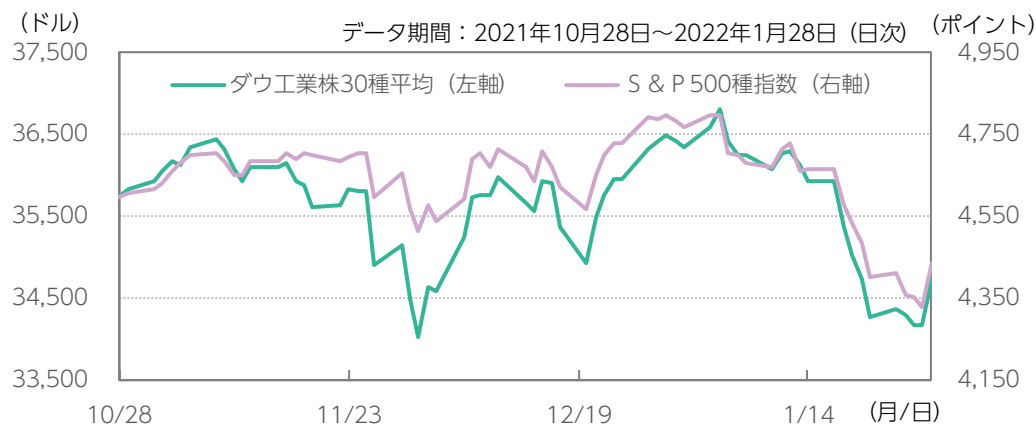


3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。

大手ハイテク企業の決算への期待から週初は上昇したものの、FOMCでFRBのタカ派的な姿勢が示されるとの思惑からその後は下落しました。FOMCを受け金融引き締めペース加速懸念から、米長期金利が上昇すると、ハイテク株などを中心に売られたものの、週末は決算発表で市場予想を上回る実績や見通しを示す企業が目立ち、買戻しの動きが広がり上昇しました。



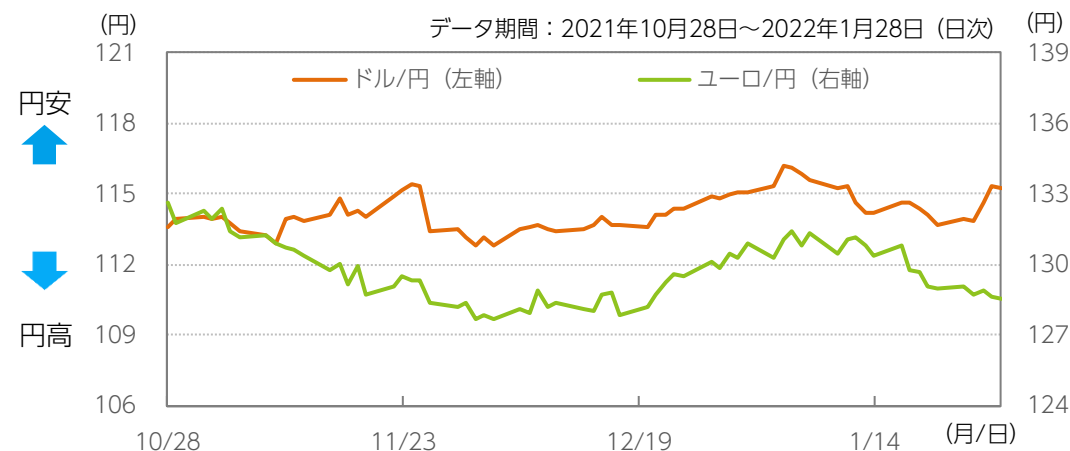
出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

マーケットレポート

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。

FRBによるFOMC後の声明を受け、米国の利上げペースが加速するとの思惑から米長期金利が上昇し、日米金利差の拡大を見込んだ円売り米ドル買いが進みました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、米企業決算への期待が高まるものの、米国の早期利上げ観測の高まりやウクライナ情勢の緊迫化などから、週を通じて不安定な値動きとなりました。

25～26日に開催されたFOMCにおいて、物価上昇と雇用の改善を受け、今年3月の利上げ開始を示唆しました。2020年3月のコロナショック以降進められてきた米国債などの資産購入を3月上旬にも終え、中旬のFOMCで利上げを決定する見込みです。FRBが今後、利上げペースを加速するとの思惑から、先週の株式市場は値動きの荒い展開となりました。

今週は国内外の主要企業の2021年10～12月期決算が発表されるため、決算内容を見極めつつ個別銘柄が物色される動きが強まりそうです。ただし、米長期金利の動向を受け不安定な値動きとなる可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>